

万人のために

お寺の役割

仏教は人の苦しみを知り、人間の幸福のため、生きていく他人を幸福にすることを抜きにしてあり得ない。未来に存在意義はない。

今の日本には、コンビニの2倍のお寺さんがあります。しかし、本来仏教は苦しみに立ち向かう宗教ですが、未だ人々の苦悩を救い得ていない。コンビニを超えるお寺は、葬式が主な役割と化し、地域コミュニティや救済の機能を失っている。

坊主丸儲けや、生臭や観光地化で住職の情報発信力、社会的影響力が急激に喪失している。

しかし、若い修行僧（高校生）がいるのも事実です。

怒りには二種類がある、憎悪の怒り、慈悲からの怒りの二つです。それは動物か人間かの違い。慈悲の怒りは、幸福な社会の、進歩発展に大きな力になります。

体力と精神力は直結している。



に生きています。生き方を含め人間の傲慢さが地球を汚す現実気がつく。本来失い忘れてならない、大切な基本を喪失した気がする。

拉致被害者の、自国民を守れずして、世界の平和は絶対あり得ないのだ。



野田新政権は、財務省傀儡（かいらい・手先）政権です。国民にとり最悪の選択を永田町は選択したか？

「モンシロチョウはなぜ地面の近いところを飛んでいるのですか。アゲハチョウはなぜ高いところを飛ぶのですか。」

答えられます・・・。

同じチョウです。ラジオを聞いて、私は答えられませんでしたが、

専門家の回答は、子孫を引き継ぐ幼虫の食料のため、モンシロチョウは地上のキャベツ・アブラナ系、アゲハはミカン系の植物に産卵するため、存在する場所だと、優しく説明していました。

ふと、全ての地球上の生物は、命を引き継ぐために必至

財務省の傀儡

野田新政権は、財務省傀儡（かいらい・手先）政権です。国民にとり最悪の選択を永田町は選択したか？

財務省は完全に政策を手中に収め、コントロール下に置いた。

国民に対して大増税を射撃、財務官僚の天下りを容認、世界大恐慌のトリガー（引き金）に指を掛けている。

民を「愛」する人材は払拭し、財務省は「大本営」だ。

第三の敗戦・災害復興（①軍事的敗戦・②バブル崩壊・③災害復興）の認識

もなく、平成の20年を失い、自民党政権が招いた失政で、本土は再度の被爆、人体実験場と化した。

我が国はつるべ落としで墜ち続け、全国の焦土化にまだ至っていない？。

私たちは、第三の敗戦、安心と信頼を裏切る政策を結果的に認めてきた。

13年間毎年3万人が自ら命を絶つ国家の現状、財務省の無策は「人災」だ。

(有)西川経営オフィスサービス
中村会計
事務所便り
 2011年9月1日(木) NO. 224
 地域から明るい未来を作ろう

今年もNHKラジオ番組で、先月の午前中「夏休み子ども電話科学相談」が放送されました。出張時にカーラジオでよく聞いていました。この放送は、27年前から毎年夏休みに今も続いている番組です。

質問は小学生低学年が主で就学前の児童も多い、電話相談です。

各専門家4人が対応、我々